

視覚障害支援センター



県内の視覚に障害のある方々に対する支援を行っています。

乳幼児期や学齢期のお子さんの視覚発達や視覚的困難に関する相談や、就労や進学に関する支援、地域の方々への情報提供など様々な活動を通して、視覚に障害をお持ちの方を取り巻く環境の整備や支援を行っていきます。



ご本人、ご家族からのご相談に限らず、園や学校の先生方からのご相談や、地域の方々からのご依頼にも応じています。

◆入学の基準◆ (学校教育法施行令第22条の3)

両眼の視力がおおむね0.3未満のもの、または視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能、または著しく困難な程度のもの。

随時、学校見学・教育相談・進路相談を受け付けていますので、本校まで直接お問い合わせください。

学校案内図

JR東日本・両毛線 前橋駅下車 徒歩15分



群馬県立盲学校

〒371-0805 前橋市南町四丁目5番地1
●学 校 TEL: 027-224-7890 FAX: 027-243-2821
ホームページ <https://mogakko-ses.gsn.ed.jp>
学校代表メール mou-snes@edu-g.gsn.ed.jp



令和7年度 学校案内

学ぶ喜び そして自立へと



群馬県立盲学校

幼小小学部

幼小小学部では、生活体験を通して、豊かな表現力や人とかかわる力を育てます。また、視覚障害に伴う困難を補うための空間把握や情報収集等の力の基礎を培います。

●幼稚部

3歳から5歳までの見えにくさのある幼児を対象に、見え方に応じた幼児教育を行っています。

●小学部

児童一人一人の見え方に応じた学習を進めています。また、修学旅行、社会見学、収穫祭などの行事や様々な体験活動を設定して、子どもたちが主体的に取り組めるように工夫しています。さらに、地域や居住地の小学校との交流及び共同学習を行い、学習の場を広げています。



動物ふれあい教室



幼稚部 運動あそび



文化祭発表

ずっともだち

中学部

中学部では、言語環境をさらに整え、コミュニケーション力や協調性を充実させていきます。また、課題解決的な学習を通して、自己選択や自己決定の力を育てます。

自ら学び考え、判断し、問題を解決していく力と、たくましく生きる力を育てるために、生徒一人一人の障害に応じた学習を進めています。

校外学習、修学旅行などの行事を通して経験を広げるとともに、生徒会や委員会等の集団活動を通して社会性の育成を図っています。

また、地域の中学校や他の特別支援学校との交流及び共同学習にも取り組んでいます。



職場体験
(クッキー作り)



校外学習(魚釣り体験)

高等部普通科

普通科では、身に付けてきた情報収集力やコミュニケーション力を充実させ、積極的に人間関係を築き上げる力を養います。将来についての学習を通して、進路実現と将来の生活の豊かさについて考えていきます。

普通科には、障害の状態や学習状況に応じて、複数のカリキュラムが準備されています。また、通常の授業の他に、将来の職業自立や生活自立へ向けての学習や進路指導にも力を入れています。

視覚障害スポーツに取り組むスポーツ部、体力づくりをしたり楽器の演奏等をしたりのスポレク部があります。一人一人のペースで活動に取り組み、充実した学校生活を送っています。

卒業後は、盲学校の専攻科に進学する人、大学や短大に進学する人、一般企業に就職する人、障害福祉サービス事業所を利用する人などがいます。



修学旅行(広島方面)



体育祭

高等部専攻科

専攻科では、将来の社会自立に向けた国家資格の取得を目指し、専門的な技術を身に付けるための職業教育を行っています。

保健医療科と理療科の2つの課程があり、ともに高等学校を卒業した人が学ぶ課程です。就業年数は3年で、次の国家試験の受験資格の習得ができます。

保健医療科：あん摩マッサージ指圧師
理療科：あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師

卒業後は、開業する人、病院や治療院、訪問マッサージ・介護関係事業所に就職する人、理療科の教員になるために進学する人などがいます。



解剖学の学習



臨床実習の様子

本校は明治38年に開校した、県内唯一の視覚に障害のある方のための学校です。幼稚園・小学校・中学校・高等学校それぞれの教育内容を学びながら、学力の向上を目指します。

一人一人の実態や発達段階に応じて点字、歩行、ICT機器の活用等、日常生活を送る上で必要な技術を身に付けるための「自立活動」という特別な学習も行っています。



学習の様子



触察地球儀



ICT機器の活用



点字ディスプレイ



歩行練習

寄宿舍

寄宿舍では、小学部から、高等部専攻科までの、幅広い年齢の児童生徒が生活しています。

自宅までの交通機関の都合、学習に専念したい、生活経験を広め自立心や社会性を豊かにしたい、と入舎の理由や目的は様々です。

日常生活や学習の合間に行事が計画され、寄宿舍生活をより豊かで潤いあるものにしていきます。



季節の行事 十五夜



洗濯干し

●幼児児童生徒数●

(令和7年4月7日現在)

幼稚部				小学部						中学部			高等部									総合計						
3歳児	4歳児	5歳児	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	普通科			保健医療科			理療科			計				
															1年	2年	3年	計	1年	2年	3年		計		1年	2年	3年	計
0	1	0	1	0	3	1	0	2	1	7	2	0	2	4	3	1	2	6	1	1	1	3	1	1	2	4	13	25